

生活科学系コンソーシアム第24回会議議事録

日時：平成30年3月24日（土）11:00～12:30

場所：お茶の水女子大学 本館103号室（生活科学部大会議室）

出席者（敬称略）

コンソーシアム構成学会より	計12名
国際服飾学会	山村明子
日本衣服学会	阿部栄子
日本栄養・食糧学会	上原万里子
日本家政学会	久保桂子
日本家庭科教育学会	志村結美
日本調理科学会	笠倉知子
服飾文化学会	岡田宣世
日本繊維製品消費科学会	小柴朋子
生活経済学会	上村協子
日本栄養改善学会	赤松利恵
日本健康心理学会	岸太一
日本健康科学学会	中村順子

日本学術会議 健康・生活科学委員会、家政学分科会委員 計12名

小川宣子、塚原典子、香西みどり、薩本弥生、都築和代、藤原葉子、
多屋淑子、重川純子、宮野道雄、鈴木恵美子、片山倫子、守隨香

欠席者：構成学会

日本消費者教育学会、日本食品衛生学会、日本食生活学会、日本保育学会、
日本食品科学工学会、日本健康医学会、こども環境学会

欠席者：日本学術会議 健康・生活科学委員会、家政学分科会

工藤由貴子、倉持清美、永富良一、熊谷日登美

配布資料

資料1. 出席名簿

資料2. 生活科学系コンソーシアム第23回会議議事録（案）

資料 3. 平成 29 年度活動報告案

資料 4. 平成 29 年度決算報告案

資料 5. 平成 30 年度活動計画案

資料 6. 運営委員一覧

資料 7. 平成 30 年度予算計画案

資料 8. アンケート整理

資料 9. 平成 29 年度構成学会行事予定表

資料 10. 構成学会の会長及び連絡担当者の氏名および連絡先一覧

資料 11. 会費口数

議題

(1) 生活科学系コンソーシアム第 23 回会議議事録（案）の承認 （守隨）資料 2

小川会長より、1 月 25 日の幹事会で片山倫子氏、宮野道雄委員が既に特任連携会員として承認されていることが述べられ、資料 1 に片山特任連携会員の名前が記されていることが説明された。したがって、「5 月 15 日の総会で承認された後に依頼する」とした第 23 回会議議事録を修正することになった。

(2) 平成 29 年度活動報告および決算案 （塚原・鈴木）資料 3、資料 4

資料に沿って平成 29 年度活動報告および 2 月 1 日現在の決算案報告がされた。

小川会長より、構成学会の活動参加者数の増加を図りたいため、所属学協会に呼びかけるよう出席者に依頼がなされた。

(3) 平成 30 年度活動計画案および予算計画案

(塚原・鈴木) 資料 5、資料 6、資料 7

資料に沿って平成 30 年度活動計画案が説明された。シンポジウムは、会場校として日本女子大学が提案され、日程は 12 月 22 日（土）とし、多屋委員が中心となり、検討することとした。博士課程論文発表会は、会場校として共立女子大学が提案され、守随委員が中心となり、日程（3 月 18 日または 3 月 19 日）などについて検討を行うこととした。なお、これらの活動の運営委員は、これまでの活動を担当いただいた運営委員一覧の資料を元に説明され、シンポジウムは日本消費教育学会、日本家庭科教育学会、博士課程論文発表会は日本調理科学会、生活経済学会の提案がされた。

平成 30 年度会計予算案は平成 29 年度の決算案を参考に作成したとの説明がされた。

報告

(1) 家政学分科会からの報告 (小川会長)

第 24 期家政学分科会で、3 つのワーキンググループを立ち上げた。それぞれ以下の内容である。

- ①家庭科教育で最低限、何を教育すべきかについて、授業の具体的な展開に踏み込んで検討し、提言することを目的とするワーキンググループ。
- ②資格教育がどうあるべきか、学術会議として、大学教育の現実をふまえた資格教育への提言を行うことを目的としたワーキンググループ。
- ③教員の資質向上を期して教員免許更新について提言することを目的としたワーキンググループ。

小川会長より、家政学がどのような学問であるかについて、社会の認知は低く、理解されにくい学問でもある。そこに軸足を置いた提言として発信したい旨が述べられた。

(2) 第 9 回生活科学系博士課程論文発表会について (藤原)

本日開催の発表会で配布するプログラムの誤記訂正が伝えられた。

「5. フレアスカートの局所的自重変形とこれに及ぼす布地の力学特性の影響

「重回帰分析を用いて」の指導教員（大阪市立大学 田村照子教授）について次のとおり記載を訂正した。

「大阪市立大学」→「文化学園大学」

「教授」→「名誉教授」

座長については、発表者と異なる所属の方に依頼するようにすることを、確認した。

その他

1) 次年度事業計画案の検討

資料 8-1 (塚原)

平成 30 年度の活動として資格教育の課題を取り上げるにあたり、依頼したアンケート結果について報告がされ、それぞれの学協会から補足説明があった。これを参考に、さらに整理をしていくこととした。

2) 平成 30 年度行事予定表について

資料 9 (阿部)

学協会に行事予定の提出依頼がされた。記載いただく様式を 4 月に送信するので、6 月末までに入力し阿部委員に返信する。

3) 生活科学系コンソーシアム名簿について

資料 10

学協会の会長および連絡係り名、連絡先の資料があり、修正があれば以下にアクセスし通知するよう伝えられた。生活科学系コンソーシアム HP→application→会

員データ更新→gakujutu@isc.chubu.ac.jp

4) 構成学会 年会費について

資料 11 (鈴木)

平成 29 年度の各学協会の年会費の確認がされた。